

科目区分	専門分野 I	科目名	日常生活援助技術Ⅱ (清潔・衣生活)	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30H)	学 期	第1学期
担当講師	竹内 友美(臨床経験13年、教育経験8年)				
科目目標	1. 清潔行動を整える日常生活援助技術について、その理論と援助技術を習得する。				
授業概要					
第1回	清潔の意義 1.清潔とは 2.日常的な1日の生活行動 3.身体清潔の意義 4.清潔行動における価値観の多様性 5.健康障害時の清潔の必要性 6.清潔援助における看護師の役割				
第2回	清潔援助における身体への影響と清潔方法の選択 1.皮膚の構造と機能 2.清潔行動に影響を与える因子と観察 3.清潔方法の選択 4.洗剤の使用 5.清潔援助実施上の原則				
第3回	衣生活の意義、整容 1.整容 1)整容の目的 2)整容実施時の観察と注意点 2.衣生活 1)衣生活の意義 2)熱生産と熱放散 3)被服気候 4)衣生活に影響を与える因子 5)寝衣交換の必要性 6)寝衣交換実施前後の評価 7)寝衣の選択 8)寝衣交換の方法と注意点				
第4回	寝衣交換(演習)				
第5回	入浴・シャワー浴、部分浴、全身清拭 1.入浴・シャワー浴 1)目的 2)入浴動作が身体に及ぼす影響 3)入浴方法の選択と観察 4)入浴援助時の注意点 2.部分浴(手浴・足浴) 1)部分浴の目的 2)部分浴の適応 3)部分浴の適応と禁忌 4)部分浴の方法と注意点 3.全身清拭 1)全身清拭の目的 2)全身清拭の適応と禁忌 3)全身清拭実施前後の評価 4)清拭方法の選択 5)全身清拭の方法と注意点				
第6回～第9回	全身清拭①②③④(演習)				
第10回	足浴(演習)				
第11回	洗髪①(講義・演習) 1)洗髪の方法 2)洗髪の方法の選択 3)洗髪実施前後の評価 4)洗髪の方法と注意点				
第12回	洗髪②(演習)				
第13回	口腔の清潔・陰部の清潔 1.口腔の清潔 1)口腔ケアの目的 2)口腔の構造と機能 3)口腔ケアの効果 4)口腔ケア実施前後の評価 5)口腔ケアの方法と物品の選択 6)口腔ケア時の注意点 7)義歯の取り扱い 2.陰部の清潔 1)陰部洗浄の目的 2)陰部の構造と特徴 3)陰部洗浄実施前後の評価 4)陰部清潔の方法 5)陰部洗浄時の注意点				
第14回	陰部洗浄(演習)				
第15回	終了試験(筆記試験・実技試験)				
看護師国家試験出題基準	清潔と衣生活の意義、清潔と衣生活に影響する要因、清潔と衣生活のアセスメント、清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助				
授業の進め方	デモンストレーションやビデオの視聴によりイメージ化を行っていく。 学生間で学内実習を行い、自己・他者評価を行いながら技術を習得する。 患者体験を通して、援助を受ける患者の心理を理解した上で援助方法を工夫する。				
履修のポイント・留意事項	1. 形態と機能、疾病・治療論、物理学(ボディメカニクス)、微生物学、日常生活援助技術Ⅰと関連させ学習する。 2. 事前学習として援助の根拠を明確にし、原理原則に基づき演習を展開する。 3. 自己学習として図書室の本だけでなくビデオやDVD教材も積極的に活用しましょう。 4. 安全・安楽・患者への配慮ができるように患者になりきって演習しましょう。 5. 実技習得は練習あるのみです。正しく実習室を活用して練習しましょう。				
テキスト	系統看護学講座 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護実践のための根拠がわかる基礎看護技術 メヂカルフレンド社 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 成人看護学⑫ 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 歯・口腔 成人看護学⑮ 医学書院				
評価方法・配点	課題レポート・授業態度(演習参加度)・終了試験(80%) 実技試験:全身清拭・寝衣交換(20%)で評価する。				